

「ふれあいネットワーク」 ～元気いっぱいどけ隊～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

主体性

人としての思いやり

日 時 平成29年 11月10日(金)

学 年 第3学年 男子12名, 女子14名, 計26名

1 単元について

(1) 児 童 観

本学級の児童は、明るく素直で、自分の課題に対して一生懸命取り組むことができる。これまで行った「ふるさと学習」では、生活科を中心に地域に出かけて第1学年では地域の農園で農業体験を行ったり、牧場で牛の乳しぼり体験を行ったり、県の天然記念物である長寿つばきを見学したりすることで、地域の特色を知り、地域の自然を守り産業の発展に力を尽くしている方々の思いを学習してきている。

本単元に入る前に、児童に「ふるさとせらにし」に対するアンケートを行った結果、全員が「自分が住んでいる地域が好き。」と回答している。また、「自分の地域はお年寄りにとって住みやすい。」と感じている児童も23名いる。その理由は、次の通りである。

「住みやすい」と思う理由	「住みやすい」と思わない理由
自然がたくさんあって静かな町だから。(6名)	坂道や段差があるから。(3名)
老人ホームがたくさんあるから。(5名)	
バリアフリーになっている場所があるから。(3名)	
親切な人がたくさんいるから。(6名)	

「住みやすさ」の条件として、自然環境や住居環境を挙げている児童がほとんどであるが、人的環境を挙げている児童も6名いた。また、「お年寄りが安心して生活するためには、どうすれば良いか。」という質問には、ほとんどの児童が「優しくする、親切にする。」という回答であったが、具体的な行動については漠然としており、どのように関わればよいかにまで考えが及んでいない。

学習に対しては意欲的な児童が多いが、身の回りの事象に積極的に働きかけて主体的に課題を発見し、解決に向けての見通しをもって、情報を活用しながら探究的に学習するという経験は少ない。そのため活動自体は楽しくできるが、目的意識をもって活動したり、活動のふり返りを次の学習に生かそうとしたりする意識は十分でない児童もいる。また、困っている友達やお年寄りの方に親切にしたり、優しい声を掛けたりする児童が多いが、自分だけの思いで行動してしまうため、相手の思いに気が付かなかったり、友達と協力して学習が進められなかったりして、相手意識が十分でない児童もいる。

(2) 単 元 観

本単元と本校の「総合的な学習の時間」の目標との関連は次のようになっている。

目標

身近な環境や地域についての探究的な学習を通して、多面的に追究する方法を身に付け、自ら対象に働きかけ主体的に課題を見出し、解決に向けて他者と協力して取り組むとともに、自己の成長を振り返り、自己の生き方を考えることができるようにする。

日本は、全人口に占める65歳以上の高齢者の割合が26%で、これは世界第1位の高齢化率である。世羅西の高齢化率は、それをさらに上回る50%で、2人に1人が高齢者という状況にある。これに対し、15歳未満の割

合は10.7%であり、少子高齢化が大きな課題である。「世羅町第2次長期総合計画」(平成27年12月策定)によると、住民向けアンケート調査では、将来の世羅町の方向性として「高齢者が安心・安全に暮らせるやさしいまち」を挙げる項目が上位となっており、「いつまでも住み続けたい日本一のふるさと」を世羅町のまちづくりの基本理念として掲げ、「医療・福祉が充実した住みやすいまち」を目指している。

児童は、家庭や地域でお年寄りと触れ合う機会も多く、お年寄りに対して、親切にしてあげたいという思いをもって生活している。

本単元では、児童の身近なお年寄りの方々とのかかわりを通して、自分を見つめ、自他を尊重しながら共に生きる力を育てることをめあてに設定した。そして、いろいろな人とのかかわりを通して、自分たちは周りの方々に見守られながら生活していることに気づき、ふるさとを元気にすることができる存在であるということに気付いてほしいという思いから、単元名を「ふれあいネットワーク～元気いっぱいどけ隊～」とした。

まず、「お年寄りが幸せに暮らせる町にするために、自分たちにできることはないだろうか。」という課題発見のもと、小単元「お年寄りと交流しよう」では、地域のお年寄りのグループに楽しんでいただけるような会を企画・運営し、自分たちでできることをして貢献しようとする。また、お正月のしめ縄を自分たちで作る、うまいかないという経験から、小単元「お年寄りに学ぼう」では、しめ縄作りを教えていただき、昔の人の知恵を学ぶ。児童はそれらの活動の中で、お年寄りは親切にしてあげる大切な存在ばかりでなく、自分たちの知らない知恵や工夫をたくさん知っておられる尊敬すべき存在でもあることに気付くであろう。そして、お年寄りの願いは、児童が今やるべきことを一生懸命頑張り、友達と助け合って充実した学校生活を送ることであると気付かせていきたいと考える。

また、学級での話し合いやワークショップ、グループなど他者と協働して主体的に取り組み学習を重ねていくことで、よりよい人間関係を築き、自己の成長を振り返り、自己の生き方を考える力を育成することができると考え本単元を設定した。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず、自分たちの住んでいる世羅町の世代別人口を予想させ、高齢者の割合を示すことで、お年寄りの多い町だと気付かせる。そして、福祉の充実を目指している世羅町で、お年寄りが安心して幸せに暮らせるために、自分たちにできることは何かという課題を発見し、解決に向けて考えさせる中で、世羅町が進めている福祉制度(閉じこもり予防通所事業)が地域にあることに気付かせ、お年寄りと交流する計画を進めていけるようにしていく。

また、お正月の伝統文化であるしめ縄を飾る風習があることに気付かせ、しめ縄の完成品を見せて自分たちで作ってみる経験をさせることで、できないことや分からないことに出合わせる。そして、どうすれば、お正月のしめ縄が作れるのか考えさせることで、地域のお年寄りからしめ縄作りを学ぶ計画を進められるようにしていく。







これらの活動を通して、お年寄りの方々には、いろいろな知恵や工夫の伝承を重ねて生きてこられた方であり、ふるさとを守るために力を尽くしてこられた尊敬すべき存在であることに気付かせていきたい。


児童が「なぜだろう。」「どうすればいいかな。」などと疑問に思うような話題を提示することで、お年寄りと交流する必然性を感じさせ、解決するために必要な方法や手段などを主体的に考え、目的意識をもって実行できるような探究的な学習を展開していきたいと考える。活動の振り返りでは、成果と課題を整理しながらまとめられるよう構造的なワークシートを工夫し、今後の展望など課題解決に向けて自分なりの方法を考えて行動できる主体性を育てていきたい。そして、いろいろな活動を友達と協力しながら行うことで、相手の立場に立って考えたり、助け合って行動したりする経験をさせ、自己や他者を大切に、共に生きようとする態度を育てていきたい。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

○地域のお年寄りとの交流を通して、お年寄りに対して、親切にしようとする態度を育てるとともに、

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">お年寄りと交流しよう</p>	<p>○お年寄りが楽しめるような活動内容を考えて、交流会の計画を立てる。(2)</p> <p>○グループごとに、交流会の準備をする。(3)</p> <p style="text-align: center;">整理・分析 振り返り</p> <p>○グループごとに練習の成果を発表し、感想交流を行い、練習に活かす。(3)</p> <p style="text-align: center;">実行</p> <p>○きららクラブのお年寄りとの交流会を行う。(3)</p> <p style="text-align: center;">整理・分析 創造・表現</p> <p>○交流会を振り返り、成果と課題や交流会を通して感じたことなどを話し合う。(1)</p> <p>○交流を通して考えたことや感謝の気持ちを手紙にまとめる。(1)</p>	<p>主①(行動観察)</p> <p>課③ (ワークシート、行動観察)</p> <p>主②(行動観察)</p> <p>人① (ワークシート、行動観察)</p> <p>課④ (ワークシート)</p>	<p>国語科 「進行を考えながら話し合おう」話聞(1)アイウオ</p> <p>国語科 「気持ちが伝わる手紙を書こう」書(1)ウエ</p>	<p> どんなことをすれば、楽しんでもらえるかな。</p> <p> お年寄りの人が楽しんでくれて、「ありがとう」とお礼を言ってもらえて、うれしかった。</p> <p> お年寄りの人にお手玉のやり方を教わったよ。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">お年寄りに学ぼう</p>	<p style="text-align: center;">創造・表現</p> <p>○お正月の飾りであるしめ縄の完成品を見て、自分たちで作ってみる。(4)</p> <p style="text-align: center;">整理・分析 課題の設定</p> <p>○できなかったところや分からないところを出し合い、どうすればしめ縄が作れるか話し合う。(2)【本時2/2】</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>○地域のお年寄りからしめ縄作りを学ぶ計画を立てる。(3)</p> <p style="text-align: center;">実行 情報の収集</p> <p>○地域のお年寄りから、しめ縄づくりを教えてください、お年寄りの知恵や工夫を学んだり、お年寄りの思いや願いを知る。(3)</p> <p style="text-align: center;">振り返り 整理・分析</p> <p>○お年寄りから学んだことをまとめ、お年寄りに対する新たな見方を発見する。(2)</p> <p style="text-align: center;">創造・表現</p> <p>○活動を振り返り、お礼の気持ちを手紙に表す。(2)</p>	<p>主①(行動観察)</p> <p>課③ (ワークシート、行動観察)</p> <p>課②(行動観察)</p> <p>主②(行動観察)</p> <p>人② (ワークシート、行動観察)</p> <p>課④ (ワークシート)</p>	<p>社会科 「かわってきた人々のくらし」(5)アイ</p> <p>道徳 B(16)郷土愛</p> <p>国語科 「気持ちが伝わる手紙を書こう」書(1)ウエ</p>	<p> しめ縄ってどうやって作るの。</p> <p>お年寄りに聞けば、しめ縄の作り方を教えてもらえるんじゃない？</p> <p> お年寄りはどうして、しめ縄を上手に作るができるのだろう。</p> <p>昔の人の知恵ってすごいな。</p> <p> お年寄りは、ぼくたちが学校でしっかり勉強している姿が見れてうれしいと言われていたな。</p>

	<p style="text-align: center;">振り返り</p> <p>○お年寄りが幸せに暮らせる町にするために、自分にできることは何かを考える。(2)</p>	<p>主① (ワークシート)</p>	<p>道徳 B(7)感謝</p>	 <p>今やるべきことを一生懸命やるのが、お年寄りの願いだったんだな。</p>
--	--	------------------------	----------------------	--

4 本時の学習

(1) 本時の目標


自分が作ったしめ縄と見本との違いを見つけ、うまくいかなかったところや分からないところを出し合い、どうすれば家に飾れるしめ縄が作れるのか考えることができる。


(2) 準備物

自分で作ったしめ縄、ホワイトボード、ワークシート

(3) 本時の学習展開

●ねらいーまとめ ○理解を助けたり、関わりを深めたりするための支援

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意事項	資質・能力の評価 (評価方法)
1 本時の課題を設定し、解決への見通しをもつ。		
<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <p>自分でしめ縄を作ってみたけど、うまくいかなかったよ。どうすればうまく作れるかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●見本とのちがいやうまくいかなかったところを出し合って、どうすればうまく作れるか考えよう。 ・自分が作ったしめ縄は、見本とどこが違うのか、どうしてうまくいかなかったのかなど、自分で作ってみた感想をワークシートに書く。 ・グループの人に、見本との違いやうまくいかなかったところを説明する。 ・自分の発表内容と比べながら聞き、課題や改善点についてグループの意見をまとめ、発表の練習をする。 ・グループごとにまとめた意見を発表し、全体で困り感を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でしめ縄を作った経験をもとに、感想を出し合い、本時の活動への意欲を高める。 ○出された感想をまとめ、うまく作れなかった人が多かった思いを共有し、解決策について話し合うことを確認する。 ○自分が作ったしめなわは見本とどこが違うか比べさせ、短い文で表せるように助言する。 ○自分が作ったしめ縄を、グループの人に提示しながら、発表させる。 ○各グループにしめ縄の見本と自分たちが作った見本を提示して説明するように助言する。 ○各グループに共通するものをまとめ、どこをどのように改善すれば、家に飾れるしめ縄になりそうか、全体としての意見をまとめる。 	<p style="text-align: center;">課題発見、解決力</p> <p>見本との違いを見つけ、どうしてうまくいかなかったのか、どのようにしたのかなどの改善策を考えている。 (行動観察・ワークシート)</p>

2 課題を解決する。		
<p>・どうすれば家に飾れるしめ縄が作れるか、解決策を考える。</p>	<p>○お年寄りの方が作られた立派なしめ縄を提示し、どんなところが良いか、どんなところを真似したいか出させることで、自分たちだけでは解決できない状況を理解させ、解決策として地域のお年寄りに教えていただくという選択肢があることに気付かせる。</p>	
3 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。		
<p>・振り返りを発表する。</p> <p> お年寄りにしめ縄の作り方を教えてもらって作れそうでよかった。</p>	<p>○本時の振り返りをさせるとともに、次時の学習への意欲をもたせる。</p>	

(4) 板書計画

④ 見本とのちがいやうまくいかなかったところを出し合って、どうすればうまく作れるか考えよう。

しめ縄
の見本

児童が作ったしめ縄の
写真

児童が作ったしめ縄の
写真

<こまったこと>

きれいな縄が作れない

縄が短くなってしまふ

結び方が分からない

小さなしめ縄になってしまふ

➡

<家にかざれるしめなわにするには>

きれいな縄を作りたい

かっこいい形にしたい

どのように結ぶのか知りたい

おじいちゃん、地域のお年寄り